



学校ホームページ

笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

津波避難訓練



8月8日(木)、日向灘で発生した最大震度6弱の地震を受け、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。8月15日には解除されましたが、政府からの、いつ大地震が起きてもおかしくないことを意識し普段からの地震の備えを改めて確認してほしいと呼びかけがありました。

学校でも、年に3回、火災や地震を想定して避難訓練を実施したり、防災学習をすすめていたりしています。運動場への避難が基本となりますが、9月は、津波を想定した屋上への垂直避難訓練を各学年ごとに行いました。

津波警報等が発令された場合の避難場所は以下のとおりです。

- 第1避難場所：①第1次避難場所 特別養護老人ホーム豊野みかんの里
②第2次避難場所 豊野団地中公園
- 第2避難場所：白塚小学校校舎3階および屋上
*第1避難場所への移動の時間が確保できない場合や
安全な避難経路が確保できない場合。

各教室で地図や写真を使って第1避難場所への経路を確認しました。「『より早く』『より高く』避難するために落ち着いて、安全に集団で行動しましょう」と、担任の先生から話をしました。

さらに、第2避難場所となる屋上への避難訓練を行いました。自分の命を守る行動について、一人一人がしっかり考えることができました。

災害が起こった時の約束について、ご家庭でも話をさせていただきますよう、願います。



*11月16日(土)は、引き渡し訓練も実施します。詳細については、後日お知らせします。ご参加、よろしくお願いいたします。

3年生・6年生 防災学習



10月1日（火）に、白塚地区防災コーディネーター、みえ防災コーディネーターの方々による防災学習を行いました。地震体験車（震度6の地震体験）、ゴミ袋ポンチョ作り、担架体験、液状化現象実験の4つをグループ別に体験しました。

液状化発生のしくみや実際に起こった液状化の写真について説明を受けた後、実際にどのように起こるのかを実験をしました。大きな揺れによって模型の電柱や建物が倒れたり、地面の下に埋まっているものが地上に出てきたりする様子に、驚きの声がありました。

また、簡易担架やゴミ袋でできるポンチョなど防災グッズ作りを通して、命や健康を守るということについても考えることができました。

三重県防災課から起震車もきていただき、震度6の地震体験をしました。大きな揺れが起こった時は自分の体を守るために「だんごむし」のポーズをとることやふだんからの備えが大事であることを教えていただきました。



児童の感想より（もっと知りたいこと・体験したいこと）

◎防空頭巾など、災害の時に役立つものをもっと作りたい。

◎避難所の様子を再現してほしい。 ◎砂防ダムがある場合とない場合の違いの実験をしたい。 ◎外国とかの地震は、同じなのか。 ◎災害の時、何を食べるのか。



4年生 総合 出前授業

校区にある「(株)キクテック」の方に来ていただき、バリアフリーについて学びました。

運転している人や歩行者が、暗い道でも見えるように区画線で使われる塗料に工夫があることを教えていただきました。白線が光るようにふきかけられている小さなガラス玉を実際に触ってみると、ざらざらしていることから、「白線の上を歩いてもすべらないようになっているのかな」と考える子もいました。

道路標識の実物の大きさに驚いたり、反射板がついていることに気付いたりしていました。お話を聴いたり、実物を見たりすることで、多くの学びがありました。

誰もが安心して過ごすことができる町作りについて、これからも学習を進めていきます。

